

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		杜っこ地域福祉事業所				公表日	2025年2月10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		活動内容によって場所を変えて、十分な広さを確保できるようにしている。また定員超過しないように保護者様と曜日や回数の相談をしている。	今後も室内と外出など活動を分けるなど、その時の状況に応じて対応していく。		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		人数や特性、活動に応じて配置を検討している。また急な欠員に対してできる限り体制が取れるように連携している。経験のあるボランティアも受け入れている。	必要に応じて増員が必要か随時検討する。		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		玄関にスロープを付けているので室内へスムーズに移動できる。	子どもたちにわかりやすく視覚化した支援を積極的に取り入れていく。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		日々の掃除の後に室内と送迎車のアルコール等の感染症対策も毎日行っている。	片づけても物が増えていることが多いので、定期的な整理整頓を心がけていく。		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		聴覚過敏の子が過ごしやすいよう、様子をみながら適切な場所を使用している。	状況に応じて臨機応変に場所の確保は引き続き行う。またその場所で落ち込んでいるような環境もつくっていく。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10		月1回の会議で行っている。会議で自由に話せる、司会と記録も順番に行っている。また、毎日のミーティングで振り返りと目標など検討もしている。			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		日々の打合せ等で共有し、団会議で検討事項などをまとめて実行している。	外部との繋がりが必要な検討事項については、機会を設けることができるよう積極的に関わっていく。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		月1回の会議で行っている。日々の打合せや個別でその都度話をして検討している。	今後もその都度話が出来る機会をつくっていく。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	4		必要に応じて外部評価をしていきたい。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		年間計画を作成し、定期的に研修を行っている。また、法人内で行っている研修にも積極的に参加している。	専門家講師の研修も積極的に取り入れていきたい。		
適切な	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		支援プログラムや支援について、その都度検討や見直しも行っている。法人HPへ掲載している。			
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		毎日の様子や保護者とのやり取りで支援方法など話をしている。モニタリング会議と保護者とのすり合わせを行い支援計画を作成している。			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		毎日関わっている支援員の意見をすり合わせて、全体で共有している。子どもを一番に考えた計画を検討している。			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		毎日計画を確認し、今日の支援はどうするかを話し合っているため、支援計画を確認する機会は毎日ある。	職員が休んだ時の情報共有を今後もしっかりと行っていく。		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		共通の記録用紙を用いり確認している。個別な対応をした時も分かりやすい様に記録を追加し確認・共有している。	改善点が見つかればその都度検討していく。		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		職員の意見や保護者の意見を踏まえて検討し、作成している。	地域と関連した計画の実行も子どもの状況を見ながら積極的に行っていく。		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		日々のコミュニケーションや会議で意見を出し合い検討している。また、子どもたちが何をしたいかを大事にしているため、子どもたちと一緒に活動内容を検討している。			

支援の提供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		子どもたちや保護者と相談しながら、固定化された方がよい子、変化が必要な子その子に合わせて活動を考えている。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10		個別活動と集団活動を取り入れた計画を作成し、一日の中でも食い合わせた活動を行っている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		出勤日数が少ない職員でも理解できるように記録を取る。来た時は必ず自分で確認し、周囲から報告をしている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		時間に限りがあるが、いるメンバーで振り返りと支援の検討をしている。その後も共有に務めている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		支援目標に対しての様子と連絡帳への記載内容から検証・改善に繋げている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		毎月会議で必ずモニタリングを行い、計画の見直しを職員全員で検討している。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	10		遊びの様々な活動を取り入れ、子どもたちが意欲的に参加できるように配慮している。また、個別と集団で分けて個々の発達状況にも合わせた活動を考えている。	
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		活動を子どもたちと一緒に考える機会を多くしているため、やりたいことを楽しくできる環境づくりを取り入れている。また決められた活動の場合でも自由に選択できる場面をつくり、意欲的に参加できる内容を考えている。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		児童発達支援管理責任者が参加しているが、必要に応じて他の職員も参加している。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		子どもが関わっている関係機関も合わせた会議に参加して、連携をとっている。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10		学校お迎え時必ず先生と情報共有をするようになっている。保護者を通じて連絡をすることが多いが、必要に応じて保護者と相談したうえで、事業所から情報共有など積極的な発信をしている。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10		担当者会議などで情報共有を行っている。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10		担当者会議などで情報交換を行っている。また保護者を通しての連携も行っている。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	2	担当者会議で情報共有したり、必要に応じて助言を受け支援計画や対応を考えている。	今後も積極的な連携をとっていく。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	3	主に土曜日の活動で同法人の児童館のイベントに参加している。また、公園で地域の子どもたちと一緒に遊べる機会があるときは関わって遊ぶ時間を数分でも設けようと心がけている。	児童館等との交流は、子どもたちの状況を見ながら長期休みなど時間があるときにも積極的に関わる機会を設けていく。また公園でも状況によるが相互に歩み寄れる場面をつくっていく。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	2	直接参加することが難しいときは相談支援事業所を通して情報共有している。	必要に応じて参加し地域と連携して子どもの活動や支援へ繋げていく。
支援の提供	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		学校からの引継ぎ、保護者との連絡帳や送迎時のやりとりなどで情報共有し理解を深めている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10		その都度相談があれば職員で共有や検討をして対応している。また、事業所からも積極的な情報交換をして家族の困りごとを聴く機会を設けている。	
36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		入所時は必ず説明をしている。また、変更がある場合はその都度説明をしている。	入所時や変更時は十分な時間を設け分かりやすい様に説明をして理解が得られているか確認をする。	

保護者への説明等	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		主に面談時に相談しながら以降の確認や共有を行っている。また、子どもたちの気持ちは普段のコミュニケーションの中で話せるような場面をつくり相互理解を深めている。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10		計画作成時は必ず面談等で保護者へ説明し、同意を得ている。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		相談があれば必ず対応している。また職員間で共有しながら支援方法や対応方法を適宜お伝えしている。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	10		年に二回、沢山の方が参加できるように開催曜日を変更して保護者会を行っている。	保護者会の開催数は必要に応じて検討していく。きょうだい同士で交流する機会は今までなかったので、家族で参加できるイベントなどを今後検討していく。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		迅速な対応ができるように体制を整え連携している。	状況にもよるが対応が遅れないように心がけていく。
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		活動内容を載せたお便りを年に4回発行している。また、SNSでの活動発信も個人情報に気を付けて定期的に行っている。	SNS発信は時期が遅れないよう、定期的に発信の継続をしていく。
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		個人情報保護についての研修会を行い周知している。必要に応じて確認が必要な場合は必ず保護者確認している。	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		口頭での共有も含め必要な場合は場所を考えたり、メモなどでやり取りをして配慮している。	状況を把握し情報伝達できるように今後も気を付ける。
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10		地域バザーを開催して、子どもたちと地域の方が交流できる機会を設けている。また、周知も含めご近所へ手作りの作品を持っていきあいさつ回りを行っている。	
	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	2	マニュアルは作成し定期的に訓練を行っている。定期的に想定を変えた避難訓練を行っている。	変更が生じたりするため見直しを定期的に行ない保護者へ周知できるように務める。
非常時等の対応	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		BCPの策定をして職員間で共有している。会議で見直し等行い訓練の場を設けている。	状況に合わせた見直しや訓練をして全員が把握できるように継続していく。
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		しっかり行えている。発作がある子に対しての留意事項は定期的に確認して共有している。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		医師から受けた指導を共有している。記録もされているのでよくわかるようになっていく。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		安全計画は作成いつでも確認できる場所においている。また定期的に玩具の点検を行い安全面の確認をしている。	今後も見落としがないように職員全員で確認をして気が付いたときはすぐ共有していく。
	51 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1	活動内容とともに安全に過ごせるように環境についての情報共有もしっかり行うようにしている。	安全計画に基づいた内容ということしっかりと周知していく。
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		細かいことでもその日のうちに共有し対策を検討している。また同法人内の他事業所とも連携して対策を検討している。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		虐待防止についての研修は必ず行い全員が参加している。また、日々の支援でも気付いたことは共有し虐待が起らない環境つくりをしている。	
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10		事業所の対応や保護者の意向を合わせて検討し、必ず保護者の同意を得てから支援計画に記載しているまた日々の支援で執拗な場合も必ず報告をして今後の対応も一緒に考えるようしている。	